

☆金星のアソシエ 高橋葉子さん

今日は働いているグループホームのスタッフ会議でした。きめ細やかなホームなので、一人一人に合わせて対応が話し合われます。寮生さん方は知的な障害を持っているので個性的な行動もあります。管理者さん方は、それを《管理》するのではなく、なぜそういう行動になるのか？本人の思いを汲んで、本人の意思を尊重しながら支援していけるように会議の舵取りをしてくれます。

知的障害者さんの支援と言うと一見特殊な感じがするかもしれませんが、よくよく考えると健常者とそんなに違いはありません。健常と言われる人でもそれぞれみんなこだわりとかありますし、どこからが問題行動でどこからが正常とかそんな線引きは出来ないものだな…と思います。自分の出来ることは自分ですという自立支援にのっとって日々の生活を支援するのですが、よくよく考えると、健常者と呼ばれる人よりもウチの寮生さんの方が規則正しくやるべきことをしているようにも感じます。私の方が寮生さん方よりもずっと出来ないことがいっぱいあるって気づきます😅 私なんかお腹が空くと、夕飯前でも満腹するほどお菓子を食べちゃうとか🍌 やるべきことを決めておいても、全然実行出来ないとか😅 言っちゃいけないこともツルリと喋って、場の雰囲気をかき乱すとか😅 家計の切り盛りなんて全く計算出来ないとか🤔 行った先で道に迷ってその度に慌てふためくとか😅 運命共同体の家族は気の毒だったと思います。特に上の子も達はこんな母に育てられたものですから…。小学校時代、〇〇を持って来てくださいとプリントをもらってもすっかり忘れられたり、登校日ではないのに無理やり学校に行かされたり(子ども達は学校は明日からだよ、と言ってるのに私が日にちを間違っ🤔)かなりの被害を受けて育ちました。あんなにいい加減に育てたわりには良い子に育ててくれて助かりました😅

つまり何が言いたいかって、知的障害者さんの支援についての話し合いに参加するたびに、自分こそ支援の対象だ…と感じるわけです。支援が必要なくらい抜けているのに、ちゃんと支援出来るのだろうか？ いや、出来ないとは言ってられない。ボランティアではなく、お仕事なわけですから。自分を信用出来ないの、チェックリストを作り直さなければ…。着替え👍 持ち物👍 しかし、待てよ…。下を向いて👍しているよりも、ちゃんと人を見ないと。大切なのはそこんだよ。

夕飯の支度の時間になってしまった。洗濯物も取り込まないと。あー蒸し暑い日だ。こんな日は虫が出るんだよね～、見に行きたいなあ。

☆ 編集後記 ☆

日野市グループホーム連絡会にてご案内いただいた、津久井やまゆり園事件のドキュメンタリー映画。利用者さん2名と一緒に参加しました。当日は日野市内の方のみならず、千葉や神奈川などからも総勢30名ほどの方が参加され、映画を観て思ったことや感じたことを当事者・支援者・親・市民など様々な立場から積極的に発言・シェアしました。みんなが生きやすい、暮らしやすい社会のあり方について、未来舎も考え続けていきたいと改めて感じた時間になりました(H)

アソシエ通信 7

アソシエ通信010 編集人 沼澤将夫 発行人 萩原由佳子
日野市南平2-46-64 株式会社 miraiye ☎042-800-2210 2024



↑移動支援を利用され、みなさん夏を満喫中！ 大國魂神社すもも祭、プールや海水浴にお出かけされるアクティブ派、涼しいショッピングモールで買い物やランチ、映画館も定番です。ホッキョクグマとのツーショットで涼をお届け！



津久井やまゆり園事件 ドキュメント映画を、利用者さんと一緒に鑑賞しました

痛ましい事件から、7月26日で丸8年が過ぎました。水星のアソシエ利用者さんお二方に伺ったところ、事件について「知っている」「覚えている」とのこと。市内でドキュメント映画が開催されることをお伝えすると「行きたい」とのことでご一緒しました。後日「やまゆり園にお花を持っていきたい」と希望され、一緒に現地へ。モニュメントの前で静かに手を合わせました

ソルのアソシエ ☆ スタッフ会議

スタッフ会議で「椅子をつかったポジションチェンジ」にチャレンジ！

スタッフ会議では、世話人が5人いれば5通りの「ふつう」や「あたりまえ」が存在し、それぞれの価値観で「この課題に対してどう解決するか」というアイデア(HOW)を出し合う、となりがち。自分の価値観と近ければ「やってみよう！」に、遠ければモヤモヤして行動に繋がらないことも…。

「水星のアソシエがどんなチームだったら、利用者さんの暮らしはよりよくなっていくんだろう」という未来のイメージを、みんなで握り直してみたらどうだろう？ そして「理想の未来に近づくために、今どうしたらいいだろう？」と方法を出し合ってく…。そんなプロセスを踏んでいけたらとの願いを込め、ミニチュアの椅子を使った「ポジションチェンジ」ワークにチャレンジしました。

ポジションチェンジは「登場人物のポジション変換を通じて、それぞれの知覚を体験」します。手始めに、スタッフの早津さんに「自分・妻・息子」の関係性を椅子で表現してもらいました。向きや距離感を感じながら椅子を配置し「ああ、ウチはこんな感じだな～」「5年後は子供は独立してほしい、そのときはカミさんとはこんな感じかもな」など。

次は水星のアソシエ利用者さん・スタッフ・本部の人数分椅子を出して、1人ひとり「理想のチームの形」を考えてみました。



黄色＝利用者さん、青＝水星スタッフ、赤＝本部。多少の違いはあれど、最終的に未来を向いて進んでいく利用者さんをスタッフが適切な距離感で見守り、スタッフを本部が見守るという共通イメージが握れました。「仕事のミスがあっても、みなさんが自分を仲間と思ってもらえていることが分かって良かった」と別の切り口の感想も。

ソルのアソシエ ☆ なかまたち

うえのみちこ

上野 美智子 さん 統括マネージャー

★お仕事…総務、労務などのバックオフィスを担当

★好きなこと…サッカー・ボディビル観戦、クドカン演劇鑑賞、個の強みを見つけること

★キャリアコンサルタント、障害者雇用アドバイザー(対個人)／ナビゲーター(対組織)を経て7月から未来舎の仲間になりました。人生の転機や悩みを抱えた時、気持ちの整理をしたい時、人は人を必要とします。未来舎で



共に過ごす時間が交歓的な関わりで彩られるように、利用者さんの日常と対人支援職の皆さんの活躍を後方から見守ります



Aさん 月のアソシエ どんな人？

★洗濯・料理・ゴミ出し…。家事力バツグン、そしてお野菜大好き♡ Aさんが作るサラダはGHの皆の健康のヒケツ！盛り付けもキレイなんです

★プール大好き！1時間でも泳ぎ続けられるパワーの持ち主

★お休みで自宅に帰る前には、GHに戻る日をカレンダーで「ここ、ルナ！」と必ず確認されるAさんです(世話人N)

ソルのアソシエ ☆ ユニットニュース



5羽のツバメが、金星のアソシエ軒下から巣立ち

ほぼ毎年、金星のアソシエ駐車場の軒下に、ツバメが巣作りにやってきます。金星ではスタッフも利用者さんも、毎日そーっと見守りを続けます。今年は無事に5羽が巣立っていきました。来年もまたきてね～